

【目次】

1. UA ゼンセン・専門店ユニオン連合会・チヨダユニオン執行部が来館
2. 日本初のメーデーとは。
3. 大阪にて開催予定。:2022年7月21日(木)~22日(金)
「蠶を持つ男・西尾末廣ー労働運動・政治運動に生きた生涯ー」

1. UA ゼンセン・専門店ユニオン連合会・チヨダユニオン執行部が来館。

チヨダユニオン執行部（執行委員長:下山 哲 氏）16名が4月15日(金)、友愛労働歴史館を見学。見学前に友愛会の創立から、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を視聴し、熱心に資料館を見学しました。中でも、貴重な書物や戦災で焼け残った唯一館の煉瓦などに関心と興味を引いた様子でした。

2. 日本最初のメーデーとは

1920年(大正9年)5月2日、上野公園において、わが国最初の本格的なメーデーが開催された。15組合5000人の参加でした。

5月2日の日曜日を選んだ理由は、「これからは一日に仕事を休んで開催しよう」と呼びかけたからで、松岡駒吉の提案する「メーデー宣言」が採択された。宣言の一文には、「吾人は、ここに日本初の労働祭を挙行す。労働祭は、労働者の自覚、訓練、団結を表現する祝祭にて、この祝祭の歓喜は、労働者のみこれを知る。吾人は今日、世界万国の労働者とともに、労働階級の解放と自由とを絶叫す。」

決議文の中には、「治安警察法第十七条の撤廃」、「失業の防止」、「最低賃金法の設定」、「八時間労働制の実施」、「公費教育の実現」、「シベリア即時撤兵」が盛り込まれていた。この頃の恐慌、失業、生活不安、ストの激増といった社会情勢が反映した。

このメーデーは、当時の労働団体を横断的に結集するという大きな役割を果たした。これは、友愛会は別として、ばらばらに活動していた多数の労働団体が、その立場や考え方を乗り越えてまとまったことは、画期的なことであった。

3. 出張展示会予告、大阪にて開催予定。(日程変更後)。

「蠶を持つ男・西尾末廣ー労働運動・政治運動に生きた生涯ー」

日程:2022年7月21日(木)~22日(金)<あくまで予定>

場所:JAM 西日本会館 時間:10:00~16:00

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:徳田 孝蔵

担当者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairedokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedokishikan.com>

-----唯一館から128年、友愛会から110年-----